

平成26年10月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,658,966</b>	<b>196,090</b>	<b>1,386,522</b>	<b>52.1%</b>	<b>1,272,444</b>		
1. 営業収益	2,309,761	192,792	1,364,717	59.1%	945,044		
1. 給水収益	2,280,090	191,929	1,359,143	59.6%	920,947		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	29,671	863	5,574	18.8%	24,097		
2. 営業外収益	348,350	3,290	21,057	6.0%	327,293		
3. 特別利益	855	8	748	87.4%	107		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,803,737</b>	<b>77,630</b>	<b>972,882</b>	<b>34.7%</b>	<b>1,830,855</b>	<b>1,217,417</b>	<b>43.4%</b>
1. 営業費用	2,104,212	77,533	451,938	21.5%	1,652,274	695,936	33.1%
1. 原水及び浄水費	459,618	35,391	182,783	39.8%	276,835	282,818	61.5%
2. 配水費	277,677	15,471	105,832	38.1%	171,845	157,778	56.8%
3. 給水費	105,297	10,441	46,611	44.3%	58,686	57,046	54.2%
4. 受託工事費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
5. 業務費	119,389	9,373	59,428	49.8%	59,961	117,663	98.6%
6. 総係費	144,309	6,857	57,283	39.7%	87,026	80,631	55.9%
8. 減価償却費	955,368	0	0	0.0%	955,368	0	0.0%
9. 資産減耗費	42,554	0	0	0.0%	42,554	0	0.0%
10. その他営業費用	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 営業外費用	285,571	0	128,092	44.9%	157,479	128,092	44.9%
3. 特別損失	393,954	97	392,851	99.7%	1,103	393,389	99.9%
4. 予備費	20,000	0	0		20,000	0	
<b>10. 資本的収入</b>	<b>1,674,270</b>	<b>1,415</b>	<b>100,686</b>	<b>6.0%</b>	<b>1,573,584</b>		
1. 企業債	951,100	0	21,000	2.2%	930,100		
2. 負担金・補償金	216,665	△ 11	32,417	15.0%	184,248		
3. 補助金	193,678	0	19,124	9.9%	174,554		
4. 出資金	298,496	0	17,680	5.9%	280,816		
5. 加入金	14,331	1,426	10,465	73.0%	3,866		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
<b>11. 資本的支出</b>	<b>2,703,401</b>	<b>64,908</b>	<b>608,902</b>	<b>22.5%</b>	<b>2,094,499</b>	<b>1,079,623</b>	<b>39.9%</b>
1. 建設改良費	2,092,702	64,908	305,664	14.6%	1,787,038	1,079,623	51.6%
1. 取水施設整備費	231,341	6,048	59,673	25.8%	171,668	124,417	53.8%
2. 浄水施設整備費	165,929	2,700	4,414	2.7%	161,515	77,854	46.9%
3. 配給水施設整備費	1,692,472	56,160	241,577	14.3%	1,450,895	875,786	51.7%
6. 管理施設整備費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
7. 消防設備整備費	2,960	0	0	0.0%	2,960	1,566	52.9%
8. 災害復旧費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 企業債償還金	610,699	0	303,238	49.7%	307,461		0.0%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>37,513</b>	<b>3,420</b>	<b>22,697</b>	<b>60.5%</b>	<b>14,816</b>		<b>0.0%</b>
①有収水量	8,147,300	676,713	4,842,913	59.4%	3,304,387		
②供給単価	279.86	283.62	280.65	100.3%	△ 0.79		
③給水原価	258.40	114.57	119.77	46.4%	138.63		
<b>人件費</b>	<b>245,097</b>	<b>15,927</b>	<b>123,447</b>	<b>50.4%</b>	<b>121,650</b>		
1. 収益的収支	212,198	13,701	104,843	49.4%	107,355		
1. 職員給与費	210,512	13,429	103,763	49.3%	106,749		
2. 特別職(報酬、賃金等)	1,686	271	1,079	64.0%	607		
2. 資本的収支	32,899	2,226	18,604	56.5%	14,295		
<b>* 職員給与費</b>	<b>243,411</b>	<b>15,656</b>	<b>122,367</b>	<b>50.3%</b>	<b>121,044</b>		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.2%	7.0%	7.6%				
2. 全職員	10.7%	8.2%	9.0%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>39,649,660</b>	<b>39,973,344</b>	<b>323,684</b>	
*減価償却累計額	16,199,600	16,712,744	513,144	
<b>B. 流動資産</b>	<b>2,747,729</b>	<b>2,786,940</b>	<b>39,211</b>	
1. 現金預金	2,277,801	2,304,878	27,077	
2. 未収金	320,868	250,183	△ 70,686	
3. その他	149,059	231,880	82,821	貯蔵品・前払い金等
4. 貸倒引当金	△ 500	△ 500	0	
<b>C. 繰延勘定</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	H26年度より廃止
<b>D. 水道事業費用</b>	<b>377,200</b>	<b>949,238</b>	<b>572,038</b>	
1. 営業費用	0	428,351	428,351	
2. 営業外費用	0	128,092	128,092	
3. 特別損失	377,200	392,795	15,595	
<b>1. 借方合計=A+B+C+D</b>	<b>45,284,940</b>	<b>46,759,070</b>	<b>934,934</b>	+長期前受金収益化累計額
<b>E. 固定負債</b>	<b>10,828,484</b>	<b>10,857,563</b>	<b>29,079</b>	
1. 企業債	10,404,784	10,433,863	29,079	
2. 引当金	423,700	423,700	0	
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,086,210</b>	<b>476,321</b>	<b>△ 609,889</b>	
1. 企業債	606,244	307,458	△ 298,786	
2. 未払金	313,626	37,316	△ 276,309	3. 未払消費税含む
3. 資本的収入整理勘定	124,923	60	△ 124,864	・H26.6から前受金のみ
4. その他流動負債	41,416	131,486	90,070	
①下水道預り金	0	9,848	9,848	
②水道料金預り金	23	33	10	
③その他	41,393	121,605	80,212	・仮受消費税他
<b>G. 繰延収益</b>	<b>8,662,885</b>	<b>8,897,886</b>	<b>235,001</b>	
1. 長期前受金	8,662,885	8,897,886	235,001	
* // 収益化累計額	2,510,352	3,049,548	539,196	
<b>H. 資本金</b>	<b>5,845,462</b>	<b>5,863,142</b>	<b>17,680</b>	
1. 自己資本金	5,845,462	5,863,142	17,680	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金	0	0	0	=企業債元金
<b>J. 剰余金</b>	<b>2,661,799</b>	<b>2,661,799</b>	<b>0</b>	
1. 資本剰余金	14,922	14,922	0	・補助金、負担金、補償金、加入金等
2. 利益剰余金	2,646,878	2,646,878	0	
<b>K. 水道事業収益</b>	<b>0</b>	<b>1,289,115</b>	<b>1,289,115</b>	
1. 営業収益	0	1,268,829	1,268,829	
2. 営業外収益	0	19,594	19,594	
3. 特別利益	0	693	693	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>45,284,940</b>	<b>46,759,070</b>	<b>1,239,128</b>	+減価償却累計額
a. 供給単価(円、銭)	260.85	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除		
①実数値	114.90	=原価算入額÷有収水量	当月予算	
②シミュレーション	225.54	原価算入額に資本費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	70.41%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	84.48%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	585.10%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	483.89%	=現金預金÷流動負債		

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成26年 10月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,427	182,460	181,790	181,533	670	927
2 調定水量	m <sup>3</sup>	721,959	4,139,055	4,134,800	4,157,198	4,255	△ 18,143
3 調定料金(税抜)	円	187,364,646	1,085,543,578	1,081,000,000	1,085,911,408	4,543,678	△ 367,830
4 口振加入件数	件	25,497	153,080	-	153,027	-	53

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	83,680	-	83,729	△ 49
6 給水件数	件	30,242	-	30,149	93
7 閉栓処理件数	件	236	1,707	1,606	101
8 閉栓処理件数	件	293	1,483	1,325	158
9 給水工事設計審査	件	86	465	511	△ 46
10 給水工事竣工検査	件	73	539	522	17
11 経年メーター交換	件	512	2,536	1,906	630
12 メーター口径変更	件	9	40	62	△ 22
13 月末停止件数	件	3	117	110	7

3 料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	218,057,706 円	81.32 %	213,818,445 円	81.26 %
15 過年度分	5,159,640 円	97.31 %	5,551,114 円	97.10 %
16 全 体(計)	223,217,346 円	-	219,369,559 円	-

4 給水装置工事指定業者(登米町1件追加)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	5	103	116	219

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計 (落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	落札件数	入札件数	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
入札件数	124/128	23/23	61/65	18/18	23/23	2/2	22/22	3/3	18/18	0/0	0/0	0/0
契約締結	一般	16	5	16	5	0	0	0	0	0	0	0
	指名	66	9	27	6	21	2	6	0	12	1	0
	随契	31	8	7	2	2	1	16	3	6	2	0
	合計	113	22	50	13	23	3	22	3	18	3	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 2件:累計4件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 11件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	21	8	
中間検査	0	0	
合計	21	8	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
第7回安全衛生委員会	8日	行事計画及び日程調整
第7回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	9日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
県水道ビジョンヒヤリング	17日	県水道ビジョン策定ヒヤリング
給水拠点訓練(事業所災害訓練、プースター合同訓練)	21日	給水タンク設置訓練
第7回経営分析会議	21日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
地方交付税検査	23日	交付税基礎数値検査
部長等連絡調整会議	23日	庁内連絡調整、事業調整、各種行事等、
第6回事業調整会議	23日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
例月出納検査	24日	月例監査
指名委員会	-日	第17回10/14、第18回10/27
入札	-日	10/10、10/27
緊急メールの発出	-日	漏水6、取水情報6、破損3、訓練1計16

特記事項

1. 10月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益は192,792千円で、9月期に比べて10,425千円の減で、予算執行率は59.6%、対前年同月比(税抜き)では千円の減、営業外収益は3,290千円で、事務手数料、補償金となっています。

当期の営業費用は77,533千円の執行で、累計額は451,938千円、予算執行率は21.5%、対前年同月比では2千円の減となっています。特別損失は、放射能検査料97千円を執行しています。

②資本的収支

当期の収入は、水道加入金が1,426千円、累計で10,465千円、予算執行率では73.0%となっています。

支出は、29,097千円で、取水施設で合ノ木・大綱木のストレーナ整備費に6,048千円、データ送信設備費に2,700千円、配給水施設整備費の布設工事費に6,061千円、布設替工事費に5,274千円、メーター購入費に2,645千円、布設替調査設計費に3,982千円を執行しました。繰越では、配水管移設事業費に35,812千円を執行しました。

③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品で3,420千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 産業フェスティバルに参加

市産業フェスティバルが10月5日に迫体育館、中江公園で開催されました。事業所では、「見て、体験して水道を知ろう」をテーマに、お客さまセンター、明電舎、フジ地中、日水コン等水道業務受託業者や水道関係会社の皆様のご協力をいただき、各浄水場の水道水の飲水体験、ろ過体験、耐震水道管や各種パネルの展示を行いました。水道クイズでは、総勢350人の方々に参加いただき、水道に関するクイズをパネルを見ながら解答いただき、水道事業のPRをさせていただきました。



ろ過体験



水道クイズ



飲水体験

(2) プロポーザル選定委員会を開催

第2回水道料金徴収、給水装置管理業務委託プロポーザル選定委員会を10月20日に開催しました。委員会では、9月に参加資格を確認した1共同事業体から提示された業務提案書のヒヤリングを行い、その内容を精査、基準点を超える結果で、フジ地中情報㈱・登米市管工事業協同組合・テクノマインド㈱共同企業体を委託業務の業者と決定したとの報告がありました。この報告により事業所では、10月30日に平成27年4月1日からの業務委託契約を締結しました。

(4) 北上川水質情報連絡会(仮称) 打合せ会を開催

北上川水質情報連絡会(仮称) 設立準備打合せ会を10月28日に開催しました。連絡会は9月中旬から発生したカビ臭の原因が北上川上流部にある田瀬ダム湖でのアオコの異常発生と考えられており、北上川から水道水を取水している当事業所、石巻広域水道企業団、岩手中部水道事企業団が情報を共有し、さらに盛岡市、一関市と連携して、国土交通省へ改善策の要望を行うもので、今後は北上川水質汚濁防止連絡協議会と協力、活動を推進することとしました。

(3) 地域水道ビジョンを改訂

7月に上水道事業運営審議会の答申を受けた地域水道ビジョン改訂(案)について、市のホームページでお知らせし、9月1日より1ヶ月間パブリックコメントを行い、改訂(案)に対する意見もなく、10月15日付けで地域水道ビジョンを水道ホームページに公表しました。

(5) 応急手当訓練を実施

安全衛生委員会事業として、応急手当訓練を10月22日に実施しました。消防津山出張所職員を講師に2班に分け全職員と水道業務受託業者の方々を受講しました。今回は、参加者をグループに分け、各班毎にそれぞれケガや事故等の状況により初グループ員が役割を決め、対処する訓練を行いました。



# 平成26年 10月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	850,122	5,293,421	5,207,370	5,345,043	86,051	-51,622
総配水量	789,205	5,022,499	4,981,310	5,164,352	41,189	-141,853
1 有効水量	781,945	4,533,409	4,482,560	4,560,230	50,849	-26,821
(1)有収水量	726,178	4,166,200	4,160,000	4,185,369	6,200	-19,169
(2)無収水量	55,767	367,209	322,560	374,861	44,649	-7,652
2 無効水量	7,260	489,090	498,750	604,122	-9,660	-115,032
(1)漏水量	6,374	484,614	496,500	601,989	-11,886	-117,375
(2)その他無効水量	886	4,476	2,250	2,133	2,226	2,343
3 有収率	92.01	82.95	83.51	81.04	-0.56	1.91

※当月期の最大配水量は、3日(水)に記録した【27,781m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	178,956	3	58,696	2	7,290	112,970	36%
イ 浄水施設整備事業	8	132,989	5	95,433	2	4,414	33,142	75%
ウ 配給水施設整備事業	80	1,503,028	53	667,812	20	66,164	769,052	48%
エ 繰越事業	12	274,769	1	43,997	11	227,796	2,976	98%

\*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

#### ◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 4)	(測定戸数: 2)	(測定戸数: 1)
平均	0.69	0.39	0.37	0.48	0.39
最低	0.61	0.16	0.17	0.27	0.24
最高	0.79	0.57	0.51	0.65	0.48

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H26.10.24	<0.76	<0.71	錦織水系浄水場	H26.10.24	<0.66	<0.70
石越浄水場	H26.10.23	<0.69	<0.42	米谷水系浄水場	H26.10.24	<0.62	<0.65
大萱沢浄水場	H26.10.24	<0.60	<0.52	楼台浄水場	H26.10.24	<0.59	<0.61
米川水系浄水場	H26.10.24	<0.54	<0.56	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 台風18号、19号の影響が

今月に市内を通過した台風18号及び19号の影響で大萱沢浄水場の水源である大萱川の濁度が急上昇したことから、改善するまで一時的に取水を停止しました。(最大配水池保有量12時間分)

また、19号では、米谷浄水場の地下水源の色度(基準5度以下)が上昇したため、緊急時連絡管を活用しながら原水の水質が改善されるまで取水を停止し配水を確保しました。

浄水場名	取水停止開始時間	取水再開時間
大萱沢浄水場	6日・17:30	7日・6:10
	14日・8:00	14日・14:50
米谷水系浄水場	14日・18:21	14日・21:05

### 19号台風時の大萱川水源の状況



### 2 大萱沢浄水場の予備水源について

大萱沢浄水場予備水源のボウリング調査が終了したことから、2日と14日に簡易揚水試験と原水を採水し水質試験を実施した結果、水道水の水源としては、現在の大萱沢浄水場の水源同様の水質であったことから、今後は、予備水源の整備工事を発注し年度内に整備いたします。



揚水試験状況

鍍入れの儀



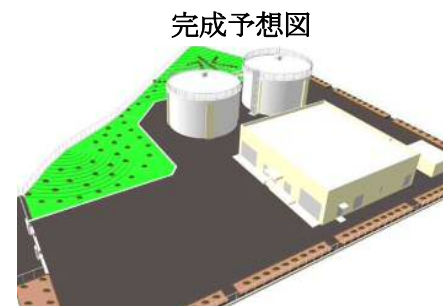
### 3 新田配水池築造工事及び管理棟築造工事の安全祈願祭開催

新田配水池築造工事及び管理棟築造工事の安全祈願祭が10月3日、午前11時00分より、工事関係者出席のもと現地で開催されました。

神事終了後、登米市長から「当事業は東日本大震災時の経験を生かし、市西部地区への安定給水を確保するために計画された施設で、早期完成と工事の安全を最優先に努めて頂くよう」等の挨拶があり、「設計及び監理」を受託した(株)日水コン東北支社と工事請負者の(株)ピーエス三菱及び(株)渡辺土建から「実績を生かした良い製品の完成と安全を目指す」ことの決意が述べられました。この配水池は、平成27年度末までに供用を開始する予定です。

※工事の概要

①工事名称 新田配水池築造工事	①工事名称 新田配水池管理棟築造工事
②工事場所 登米市迫町新田字館林地内	②工事場所 登米市迫町新田字館林地内
③工事請負者(株) ピーエス三菱	③工事請負者(株) 渡辺土建
④工 期 平成26年8月12日 ～平成28年2月29日	④工 期 平成26年8月12日 ～平成28年2月29日
⑤契約金額 329,184,000円	⑤契約金額 255,960,000円



完成予想図

### 4 平成26年度漏水調査の実施 (注:6月から実施)

10月末現在の漏水調査の結果は累計で、(配水管35箇所、空気弁3箇所、消火栓1箇所、給水管54箇所、止水栓6箇所、メータ18箇所、宅内3箇所)120件の漏水を発見しています。

### 5 地震発生状況

登米市内における震度4以上の地震発生はありませんでした。